

一科

十校研究第四四號 (○甲舟3)

規則第一條
適用

小護衛艇試験計畫

昭和二十年七月二十五日
第十陸軍技術研究所

試製小護衛艇ノ速力性能ヲ檢シ其ノ實用價值ヲ判定スルニ在リ
第一 試験ノ目的
第二 主要試験項目

速力試験

第三 供試機材

試製小護衛艇 (略稱セは底改) 一隻
本艇ハ輪送舟艇ノ拖護ニ使用スル鋼製武骨艇ニシテ試製波艇戰鬥艇一型ノ速力ヲ向上シ裝備火炮ヲ變更シタルモノトス 本艇及試製波艇戰鬥艇一型主要諸元ノ比較左表ノ如シ

項	目	小護衛艇	波號戰鬪艇一型
全長	二三・〇〇〇米	一八・〇〇〇米	
最大幅	三・五〇〇米	三・五〇〇米	
深サ	一・八〇〇米	一・七〇〇米	
排水量(満載狀態)	二八・八七〇噸	二五・一七〇噸	
吃水(満載狀態)	〇・六六一米	〇・六九五米	
平均	一・一九二米	一・一六五米	
	〇・九二七米	〇・九三〇米	

速力 (滿載狀態)	航 續 時 間	機 名	機 量	關 出 力		兵 裝	其 他
				最大	常用		
(計畫)	一・三 節	龍月四式自三十馬力「ジーゼル」發動機	二 基	一五〇馬力 (一五〇〇馬力/毎分)	一三〇馬力 (一三三〇馬力/毎分)	四式基筒双聯 三 門 二〇耗高射機四挺	汽船 (D 3 D 3 B 及タンカー) ニ 搭載可能
一・二 節	一・〇〇 時 間	同	同	同	同	爆雷投下 船 (三ヶ格取) 二 基	同
一・一 節	一・五〇 時 間	同	同	同	同	同	同
一・〇 節	同	同	同	同	同	同	同
九 節	同	同	同	同	同	同	同
八 節	同	同	同	同	同	同	同
七 節	同	同	同	同	同	同	同
六 節	同	同	同	同	同	同	同
五 節	同	同	同	同	同	同	同
四 節	同	同	同	同	同	同	同
三 節	同	同	同	同	同	同	同
二 節	同	同	同	同	同	同	同
一 節	同	同	同	同	同	同	同
上	同	同	同	同	同	同	同

本試験ニ於テハ機走ニ必要ナル機油ノ供給量及機油ノ消費量ヲ精算ス

一 試驗實施ノ方法

大阪府堺市三寶濱大原造船鐵工所堺工場ヲ基地トシ附近海面ニ於テ速力試驗ヲ實施ス
速力以外ノ性能ハ試驗波駛戰鬥艇一型ニ於テ明カナルヲ以テ其ノ試驗ヲ省略ス
二 試驗實施予定

第四 試驗實施要領

日次	月	日	試驗項目	場 所	摘 要
1	八月	二日	準 備	大原造船堺工場	
2	八月	三日	繫留遊 轉		
3	八月	四日	速力試驗	堺三寶濱附近海面	
4	八月	五日	撤 收	大原造船堺工場	

第五 試驗期日及場所

自昭和二十年八月二日 至昭和二十年八月五日 間 於堺港（基地大阪府堺市三寶濱大原造船鐵工所堺工場）

第六 試驗員

科長	陸軍中佐	内 山 鐵 男
	陸軍少佐	赤 林 孝
	陸軍少尉	中 山 和 世
	陸軍技術部	原 田 親 悟
	見習士官	

配布先

兵政本 (一一) 一研 (一一) 二研 (一一) 五研 (一一) 大造 (一一) 大造白濱 (一一) 船司 (一一) 船練
(一) 船廠 (一) 参本 (一)

1716